

# 社会資本総合整備計画

みんなが安心 地震災害に備えた防災まちづくりの構築(防災・安全)

平成27年 2月

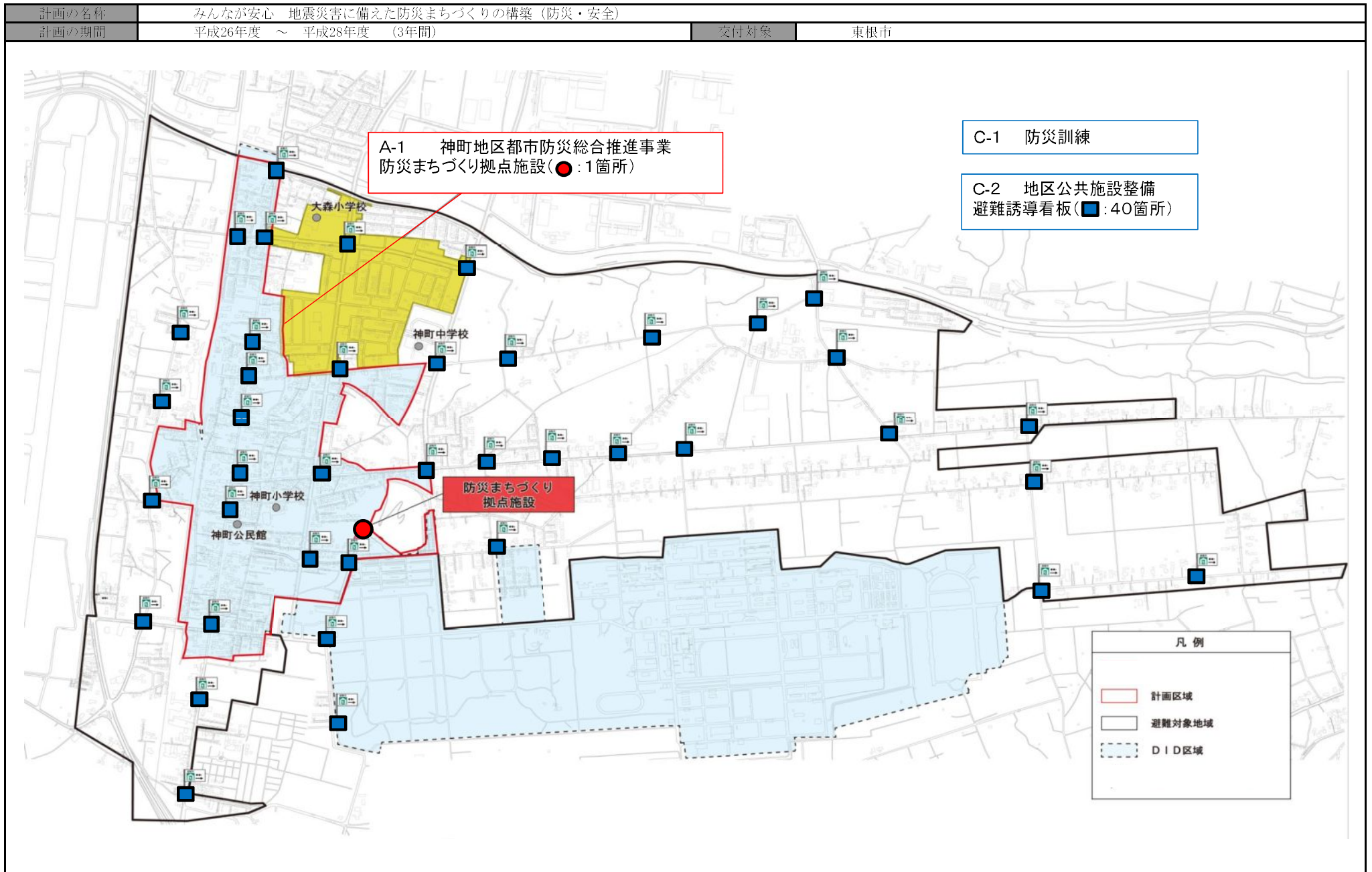
(第1回変更)

やまがた ひがしねし  
山形県 東根市

(変更) 社会資本総合整備計画 (防災・安全)

計画の名称	みんなが安心 地震災害に備えた防災まちづくりの構築 (防災・安全)																														
計画の期間	平成26年度 ~ 平成28年度 (3年間)			交付対象	東根市																										
計画の目標	東根市では大規模地震に備え既存の施設を収容避難所として位置づけているが、神町地区について地域の防災拠点となる既存の収容避難所について耐震化及び高齢者や障害者に対応したバリアフリー化がされておらず、また備蓄倉庫や非常時の通信設備等の防災機能も不十分であることから、これらの機能を有する収容避難所を防災拠点として整備する。また、当該地区は宅地開発が進み人口が増加しているため、防災に関する知識の普及啓発を行う必要があり、避難場所・避難経路等を案内する看板を設置し、あわせて防災訓練・講習会を実施し、自主防災体制の充実と防災意識の向上を図り災害に備えた防災まちづくりを構築する。																														
計画の成果目標 (定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者や障害者を収容できるスペースを確保した収容避難所の整備を目指す。</li> <li>・防災用備蓄倉庫の床面積を増やし、災害用物品の備蓄量を充実させる。</li> <li>・神町地区での防災訓練及び研修会の回数を増やし、防災意識の高揚及び自主防災体制の強化を図る。</li> </ul>																														
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H26当初)</th> <th>中間目標値 (H27末)</th> <th>最終目標値 (H28末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現在収容避難所に指定されている神町公民館と、新たに収容避難所となる防災まちづくり拠点施設の高齢者、障害者を収容可能な床面積を算出する。 (整備目標避難者収容床面積) = (一人あたりの使用床面積) × (避難者数) / (室内通路等を除いた使用可能面積割合)</td> <td>64.04㎡</td> <td></td> <td>325.00㎡</td> <td></td> </tr> <tr> <td>防災用備蓄倉庫の床面積を算出する。 (整備目標備蓄倉庫床面積) = (既存備蓄倉庫床面積) + (新設備蓄倉庫床面積)</td> <td>6.4㎡</td> <td></td> <td>51.5㎡</td> <td></td> </tr> <tr> <td>神町地区での防災訓練及び研修会の回数。 (年間実施回数) = (防災研修会) + (防災訓練) + (救命救急講習会)</td> <td>1回/年</td> <td></td> <td>3回/年</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>									定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H26当初)	中間目標値 (H27末)	最終目標値 (H28末)	現在収容避難所に指定されている神町公民館と、新たに収容避難所となる防災まちづくり拠点施設の高齢者、障害者を収容可能な床面積を算出する。 (整備目標避難者収容床面積) = (一人あたりの使用床面積) × (避難者数) / (室内通路等を除いた使用可能面積割合)	64.04㎡		325.00㎡		防災用備蓄倉庫の床面積を算出する。 (整備目標備蓄倉庫床面積) = (既存備蓄倉庫床面積) + (新設備蓄倉庫床面積)	6.4㎡		51.5㎡		神町地区での防災訓練及び研修会の回数。 (年間実施回数) = (防災研修会) + (防災訓練) + (救命救急講習会)	1回/年		3回/年	
	定量的指標の現況値及び目標値			備考																											
	当初現況値 (H26当初)	中間目標値 (H27末)	最終目標値 (H28末)																												
現在収容避難所に指定されている神町公民館と、新たに収容避難所となる防災まちづくり拠点施設の高齢者、障害者を収容可能な床面積を算出する。 (整備目標避難者収容床面積) = (一人あたりの使用床面積) × (避難者数) / (室内通路等を除いた使用可能面積割合)	64.04㎡		325.00㎡																												
防災用備蓄倉庫の床面積を算出する。 (整備目標備蓄倉庫床面積) = (既存備蓄倉庫床面積) + (新設備蓄倉庫床面積)	6.4㎡		51.5㎡																												
神町地区での防災訓練及び研修会の回数。 (年間実施回数) = (防災研修会) + (防災訓練) + (救命救急講習会)	1回/年		3回/年																												
全体事業費	合計 (A+B+C)	449.0百万円	A	437.0百万円	B	百万円	C	12.0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	2.7%																					
交付対象事業																															
A1 基幹事業																															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)			全体事業費 (百万円)	備考																		
A-1	防災	一般	東根市	直接	東根市	神町地区都市防災総合推進事業	防災まちづくり拠点施設1棟 (備蓄倉庫)	東根市	H26	H27	H28			437.0																	
合計												437.0																			
B 関連社会資本整備事業																															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)			全体事業費 (百万円)	備考																		
									H26	H27	H28																				
合計																															
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考																				
C 効果促進事業																															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)			全体事業費 (百万円)	備考																		
C-1	活動支援	一般	東根市	直接	東根市	防災訓練	防災訓練・講習会等	東根市	H26	H27	H28		0.6																		
C-2	施設整備	一般	東根市	直接	東根市	地区公共施設等整備	避難誘導看板等の設置	東根市					11.4																		
合計												12.0																			
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考																				
C-1	避難訓練実施により、災害時における住民の避難場所の周知するなど、住民の防災意識の向上を図る。																														
C-2	避難路誘導看板などの整備により、より安全で確実な避難所への誘導を図る。																														

(図面) 社会資本総合整備計画 (防災・安全)



# 社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称：みんなが安心 地震災害に備えた防災まちづくりの構築(防災・安全)

事業主体名：東根市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①都市防災事業計画との適合等	
1) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
②地域の課題への対応	
1) 地域の課題と整備計画の目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
①目標と事業内容の整合性等	
1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3) 事業内容は、計画の目標を達成する上で適切なものとなっている。	○
②事業の効果	
1) 要素事業の相乗効果等、十分な事業効果を得られることが見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性	
①円滑な事業執行の環境	
1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○